

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

手足口病が増えています！

熊本市における第15週(4月6日～4月12日)の定点医療機関あたりの手足口病患者報告数は、3.31(定点数16ヶ所、患者報告数53人)で、前週に比べて2倍以上に増加しました。

手足口病は、5歳までの子ども、特に2歳以下の乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症で、口の中、手のひら、足の裏や足の甲などに2～3mmの水疱性の発疹が出ます。年間を通じて、感染する可能性がありますが、7月が流行のピークとなることが多く、これから更に増加する可能性があり、注意が必要です。便や咳、くしゃみから感染しますので、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが感染予防に有効です。

感染性胃腸炎に引き続き注意しましょう！

定点医療機関あたりの感染性胃腸炎の患者報告数は、4.81人(定点数16ヶ所、患者報告数77人)となり、前週(6.00人)よりも減少しましたが、引き続き、手洗いなどの感染予防策をしっかりと行いましょう。

期 間		平成27年 第14週		平成27年 第15週	
		3/30～4/5		4/6～4/12	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		33	1.32	22	0.88
RSウイルス感染症		1	0.06	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		2	0.13	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		13	0.81	15	0.94
感染性胃腸炎		96	6.00	77	4.81
水痘(みずぼうそう)		14	0.88	11	0.69
手足口病		20	1.25	53	3.31
伝染性紅斑(りんご病)		4	0.25	6	0.38
突発性発しん		16	1.00	16	1.00
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		1	0.06	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		10	2.00	9	1.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		7	1.40	5	1.00